

「基礎から学ぶ3次元CADを活用したモノづくり(実習付)」

開催期日：平成19年 10月9日(火)

申込締切：平成19年 10月2日(火)

主催：(社)精密工学会

企画：事業部会企画第1グループ

協賛(予定)：大田区産業振興協会/SME 東京支部/TAMA 産業活性化協会/TAMA-TLO/応用物理学会/品川区産業振興課/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/発明協会東京支部/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

近年の3次元CADは優れたGUIによる直感的な操作が可能となり、容易に形状モデルを作成することができるようになりました。そのため、機械設計に専門的に携わる人だけでなく、パートや派遣業界等をはじめとした幅広い層のユーザーに利用されるようになりました。しかし、作成された3次元モデルデータを実際のCAEやCAM等に利用することを鑑みると、単なるモデリングだけでなく、より基礎的なCAD技術の知識を得る必要があります。

本講習会では、CADを正しく、効率よく利用してもらうために、機械加工を意識したCADモデリングの方法やCADデータの変換と品質等について詳しく解説します。さらに、3次元CAD実習を通して、加工工程を考慮に入れたCADの基本的なモデリング手法から、これらのデータの活用法など、CADオペレーティングの現場で起こっている種々の問題についての解決法を伝授いたします。

講師には、産業界等で活躍されている方々をお迎えし、3次元CADの基礎からその活用法までを実践的に学ぶことができます。講習会の対象者として、これから3次元CADを学ぼうと考えている方、3次元CADを導入しCAEやCAMへの発展を考えている方、初心者から中堅者までのCADオペレータ等に最適です。是非この機会に講習会に参加いただき、あなたのCAD技術のスキルアップを目指しませんか？

日時：平成19年10月9日(火) 9時30分～17時00分

会場：中央大学理工学部後楽園キャンパス(〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27)

* 後楽園駅(東京メトロ丸の内線、南北線)下車徒歩約5分

* 春日駅(都営地下鉄大江戸線、三田線)下車徒歩約7分

* 水道橋駅(JR総武線)下車徒歩約10分

* 会場 URL: http://www.tamacc.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司会：小泉 泰子<株式会社 国光社>、中村 太郎<中央大学>

次 第：(予定)

時間	題目	内容	講師
9:30-10:30	【基調講演】 3次元CADの企業での活用と導入事例	モノづくりのための設計図は、目的物が支障なく完成される事を目指して表現されます。その表現を2次元3面図から三次元立体図にすることで画期的な生産性の向上とコストや品質の向上までを実現してきた具体的体験談を紹介します。	PTC ジャパン (株) 副社長・上級顧問 亀田勇
10:30-11:30	機械加工を意識した3次元形状の作り方	機械加工を考慮に入れた3次元モデルを作成する場合、その加工工程等を考慮に入れた設計が必要になります。本講演では3次元形状を作製する上での基本的な概念について述べて頂きます。	(株)日本デザインエンジニアリング 代表取締役 岩壁清行
11:30-12:30	昼食		
12:30-13:30	3次元CADデータの活用と品質	現在、製品の企画から製造までのあらゆる場面で3次元データの利用が図られています。3次元データを様々なツールで様々な用途に用いる際の技術的な問題点と、それを解決する最新技術を、具体的な事例とともに紹介します。	株式会社エリジオン ゼネラルマネージャー 相馬淳人
13:30-13:50	休憩・移動		
13:50-15:20	【実習】 ひと工夫ある3次元CADの運用方法	3次元CAD(Pro/ENGINEER)の流用設計や共同設計など、日々の設計業務の効率をUPさせる、上手な運用方法を実習します。	株式会社 理経 製造ソリューション部 アプリケーションエンジニア 宮野雅年
15:20-15:30	休憩		
15:30-17:00	【実習】 3次元CADとソフト解析の運用方法	設計者自身が3次元CADと解析ソフトを併用し、問題の発見と適切な対処を行う運用方法について実習します。	株式会社 理経 製造ソリューション部 アプリケーションエンジニア 宮野雅年
17:00-18:30	技術交流会(自由参加：無料)		

定員：40名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000円、非会員30,000円【会員・非会員ともテキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000円をご負担ください)

学生非会員 6,000円(テキスト代含む)

*参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資料：資料のみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊4,000円

申込方法：会告〇〇〇ページ掲載の講習会・シンポジウム等申込方法参照

申込先：精密工学会(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9、九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、Fax03-5226-5192)

(<http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html>からも申込みできます)